

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2002-214950(P2002-214950A)
 【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)
 【出願番号】特願2001-10219(P2001-10219)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

H 0 5 B 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/20 1 0 2

G 0 3 G 15/20 1 0 9

H 0 5 B 3/00 3 3 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】熱定着装置及び画像形成装置並びに制御方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 熱源を内蔵したヒートローラとこのヒートローラに押圧する加圧ローラとの間に、トナー画像を有する記録紙を通して前記トナー画像を定着させる熱定着装置において、前記ヒートローラを外側から囲むカバーを備え、このカバーの内側に、通電により発熱するヒータが設けられていることを特徴とする熱定着装置。

【請求項2】 前記ヒートローラを囲むカバーの外側に、このカバーを囲む保護カバーが設けられていることを特徴とする請求項1の記載の熱定着装置。

【請求項3】 記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する請求項1または請求項2に記載の熱定着装置と、前記画像形成機構が稼働している時及び稼働を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を行う制御部とを具備することを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】

記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、

この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する熱定着装置であって、熱源を内蔵したヒートローラとこのヒートローラに押圧する加圧ローラとの間に、トナー画像を有する記録紙を通して前記トナー画像を定着させる熱定着装置において、前記ヒートローラを外側から囲むカバーを備え、このカバーの内側に、通電により発熱するヒータが設けられている熱定着装置と、

を具備する画像形成装置に用いられる制御方法であって、

前記画像形成機構が稼働している時及び稼働を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を

行うことを特徴とする制御方法。

【請求項 5】

記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、

この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する熱定着装置であって、熱源を内蔵したヒートローラとこのヒートローラに押圧する加圧ローラとの間に、トナー画像を有する記録紙を通して前記トナー画像を定着させる熱定着装置において、前記ヒートローラを外側から囲むカバーを備え、このカバーの内側に、通電により発熱するヒータが設けられ、前記ヒートローラを囲むカバーの外側に、このカバーを囲む保護カバーが設けられている熱定着装置と、

を具備する画像形成装置に用いられる制御方法であって、

前記画像形成機構が稼動している時及び稼動を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を行うことを特徴とする制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子写真方式により記録紙に転写されたトナーによる画像を加熱・加圧して記録紙に定着させる熱定着装置、およびこの熱定着装置を備えた画像形成装置並びに画像形成装置に用いられる制御方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、画像形成装置における起動時及び長時間の待機や保守点検の後などの再起動時においてもヒートローラの温度を短時間で運転温度まで昇温できる熱定着装置を提供することを目的とし、また、本発明はこの熱定着装置を備えることで短時間で使用可能となる画像形成装置並びに画像形成装置に用いられる制御方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 3 の発明による画像形成装置は、記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する請求項 1 または請求項 2 に記載の熱定着装置と、前記画像形成機構が稼動している時及び稼動を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を行う制御部とを具備する。

請求項 4 の発明による制御方法は、記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する熱定着装置であって、熱源を内蔵したヒートローラとこのヒートローラに押圧する加圧ローラとの間に、トナー画像を有する記録紙を通して前記トナー画像を定着させる熱定着装置において、前記ヒートローラを外側から囲むカバーを備え、このカバーの内側に、通電により発熱するヒータが設けられて

いる熱定着装置と、を具備する画像形成装置に用いられる制御方法であって、前記画像形成機構が稼動している時及び稼動を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を行う。

請求項5の発明による制御方法は、記録紙にトナー画像を形成する画像形成機構と、この画像形成機構によりトナー画像を記録紙に定着する熱定着装置であって、熱源を内蔵したヒートローラとこのヒートローラに押圧する加圧ローラとの間に、トナー画像を有する記録紙を通して前記トナー画像を定着させる熱定着装置において、前記ヒートローラを外側から囲むカバーを備え、このカバーの内側に、通電により発熱するヒータが設けられ、前記ヒートローラを囲むカバーの外側に、このカバーを囲む保護カバーが設けられている熱定着装置と、を具備する画像形成装置に用いられる制御方法であって、前記画像形成機構が稼動している時及び稼動を待機している時には前記熱定着装置に設けられる前記ヒータへの通電を停止し、その他の時には前記ヒータへの通電をする制御を行う。